

出席者	住民	30人	市 大城市長・宮下市民福祉部長 政策推進課 山本補佐・野本主査
担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
生涯 推学 進習 課	※事前質疑 地域活動につ いて	<p>人口減少が進む中、地域の内外での人々のつながり作りが更に重要となる。特に少子化による学校の統廃合が進む中、公民館では「子ども達がつなぐ地域の輪」をテーマに地域活動を進めている。昨年度の利用者は本館が17,000名、分館の地域活動交流施設(あすもわ)が6,000名と多くの方々に利用頂いた。特に(あすもわ)は小中学生のサードプレイスとして定着してきた。今後は閉校となる地域の子も達や保護者・住民の方の来館も増加すると考えている。これまでの運営には館職員の頑張りだけでなく4年前に赴任した地域おこし協力隊員の活躍にも依るところが大きい。協力隊員の任期は来年3月末で終了と聞いている。そこで、神山地区としては来年度以降は地域交流活動支援員の配置を要望したい。これからは地域内や子ども達との関わりだけでなく、他地域特に市南部(舌田・双岩・川上・真穴)との協働に重点を置いた活動を進めたい。その為には他地域の方々とのつながりや地区公民館との意思疎通を図れる人材が必要と考えている。</p> <p>また、厳しい財政状況の(あすもわ)の運営予算増額も併せてお願いしたい。年間70万円の運営資金が必要であり、5年間の経過で部分的な補修費用も必要としている。現在の所、生涯学習課からの配分金は年間30万円となっている。</p>	<p>地域活動交流施設「あすもわ」では、地域おこし協力隊員が幅広い地域活動に取り組んでいる。後任者については現時点で具体的には決まっておらず、新たな地域おこし協力隊員を充てる予定はない。</p> <p>川之石地区交流拠点施設「みなせ」では、半日勤務の会計年度任用職員(パート)を2名配置している。これと同様に考えた場合、「あすもわ」には1日勤務の会計年度任用職員(パート)1名を配置したいと考えている。</p> <p>また、他地域との協働については、中央公民館が主体となって、地区公民館と連携して取り組むことが理想であると考えている。</p> <p>本市では、限られた財源を効果的に配分するため、予算要求の内容を詳細に精査し、厳正に査定したうえで予算措置を行っている。この取扱いは、団体等への補助金や助成金についても同様であり、必ずしも要望どおりに予算措置が行われるものではない。</p> <p>今回ご要望のあった、現行の運営資金30万円から40万円増額し70万円とする件についても、詳しい内容をお聞かせいただいたうえで、対応を検討したい。</p> <p>※現在の運営資金30万円の内訳は、活動費として15万円、光熱水費として15万円。</p>
総務課	※事前質疑 避難所整備につ いて	<p>神山地区自主防災会は、ここ数年南海トラフ地震発災時の避難者数想定を指定避難所第一の公民館は100名、第二の小学校は300名として整備に取り組んできたが未だに十分ではなく、特に小学校の寝具類やトイレ用品等は大いに不足している。発災時には最低3日分の備蓄品が必要と考えるが、市としては発災時の避難者(特に小学校の)想定数を何人と考えているのか教えてほしい。津波避難を考えると神山小学校には地域外の特に関内や海岸部の住民の方々の避難が考えられ、地区自主防の総定数は少ないと思われる。また避難生活が長期に及ぶと考えられるが、現状での対応・対策を教えてください。</p>	<p>南海トラフ巨大地震などの大規模災害が発生した際には、まずは「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、身の安全を最優先に行動してほしい。発災時には、できる限り早い段階で市内各地区の自主防災会等と連携し、道路や家屋などの被害状況、河川等の地理的条件を総合的に判断したうえで、開設可能な指定避難所を順次開設する方針である。</p> <p>また、津波災害警戒区域内の地区においては、津波警戒区域外にある指定避難所の割り振りを現在、市として検討している。</p> <p>指定避難所以外にも、自治館や集会所などの自主的な緊急避難場所を含め、利用可能な施設を最大限活用していく必要があると考えている。</p> <p>神山地区の指定避難所は、神山地区公民館、神山小学校(校舎・体育館)、神山児童クラブ、八幡浜中学校(校舎・体育館・木造校舎)、神山こども園、八幡浜工業等高校(体育館・武道場)の6施設になり、それぞれの施設で想定収容人数を定めている。</p> <p>備蓄品に関しては、旧神山児童クラブを防災拠点と位置付け、備蓄品の配備数を増やしている。今後も市の財政状況を考え、できる限りの備蓄に努めていくが、自助・共助の部分における各家庭や各自主防災会等における備蓄もお願いしたい。</p> <p>能登半島地震後に、避難所運営に携わった職員からは、能登半島地震直後は、避難所へ避難をし、その後安全を確認し、各家庭に帰り、食料や寝具等を避難所に持ち寄ったと聞いている。</p>

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
総務課	※事前質疑 避難所整備について		(1ページの続き) 南海トラフ巨大地震が発生した場合、避難所生活の長期化対策は、最も重要な位置付けになると思われる。市としては、市内のフジやJA西宇和などの物資調達に関する協定を締結しているが、南海トラフ巨大地震が発生した場合は、市内や近隣市町の企業等も大きな被害を受けている可能性が高く、協定締結先の企業が保有する物資を確実に調達できるかは不透明である。 その際には、愛媛県及び県下20市町での「災害時における愛媛県市町相互応援に関する協定書」や「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」及び「四国西南サミット災害時相互応援協定」など、県内、県外の市町とも連携し、有事の際の物資調達に努めたいと考えている。 (参考) 神山地区の指定避難所の想定収容人数 神山地区公民館:176人 神山小学校校舎:744人 体育館:352人 八幡浜中学校本館:434人 木造校舎口82人 体育館:295人 八幡浜工業高校体育館:400人 武道場:99人 神山児童クラブ98人
建設課	大雪時の対応について	2月の大雪で山間部が1週間程度孤立した。救急搬送等、人命に関わるため、融雪剤だけでなく除雪車を派遣するなど、除雪体制を強化してほしい。	今年の雪害を教訓に、今後は雪に関しても災害対策本部の設置を考えている。渋滞対策として警察等と連携を強化し、山間部の除雪については事前に業者と情報共有する体制を整える。
子育て支援課	神山こども園の建設計画について	建設計画を住民が知らされておらず、事前の説明が不十分ではないか。 公園が利用しづらくなる、樹木の伐採により景観が損なわれるとして、周辺住民から反対意見が出ている。 計画の詳細、一般利用の可否、今後の進め方について知りたい。	昨年末に基本設計が完成し、市議会や地区には説明している。説明不足については今後の課題としたい。 利用者の少ないエリアをリニューアルする計画である。芝生広場は残し、伐採後は新たに植栽も行う。高齢者と子どもが交流できる開かれた施設を目指す。 本年9月の市議会で説明後、広報等で図面を含め詳細を公表する。 【補足】 今年度は、5月23日に小学校統合のため設置された神山地区協議会(各地区公民館、役員、後援会代表等およそ30名が出席)において説明を行った。今後は広報等で詳細の掲載、二次元コードで動画を視聴できるようにするなど、広く市民に周知していく。
子育て支援課	神山こども園の建設に伴う交通渋滞について	現在も渋滞しやすい道路に、こども園の送迎が加わることで渋滞が悪化するのではないか。交通量調査などの対策を要望する。	交通問題は最大の懸念事項であり、送迎方法や待機場所の確保など、事故が起きないように対策を検討する。住民の協力もお願いしたい。 【補足】 現在の保護者の登降園時間(15分単位)を調べたところ、まんべんなく分かれており、そこまで集中している訳ではないが渋滞の発生は予想されるため、地元の交通指導員、保護者等に交通整理をお願いするなど、地域の皆様のご協力を得ながら少しでも渋滞が解消できるような方法をとっていきたい。
社会福祉課	障がい者向けグループホームの設置について	障がい者向けのグループホームの設置を検討してほしい。	松柏中学校跡地に新しい養護老人ホームを整備した後、現在使われている「湯島の里」と「あけぼの荘」の空き施設を、障がい者グループホームとして活用することを検討している。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
総務課	防災対策について	<p>防災士の育成方針を教えてください。</p> <p>避難所開設を迅速に行うため、キーボックスの設置や電子キーの導入を検討してほしい。</p> <p>地震後、住民が自宅に留まれるか判断できるよう、簡易的な建物診断の研修会を実施してほしい。</p>	<p>年に1度の防災士の研修等を通して、防災士の力量を高めてもらいたい。</p> <p>避難所の鍵については、キーボックスの設置など、将来的な改修時に対応を検討する。</p> <p>災害後の正式な建物診断は専門の建築技師が行うが、その数は限られるため、全国からの応援で対応する体制となる。</p>
学校教育課	小学校の統廃合について	<p>神山小学校の伝統行事「ひな祭り音楽祭」が新設校で廃止されると聞いている。伝統は残すべきである。</p> <p>他地区の小学校統廃合計画が遅れている。もっと早く進めるべきではないか。</p>	<p>「ひな祭り音楽祭」の廃止は初耳であり、経緯を確認して回答する。各校の歴史ある行事はなるべく残す方針である。</p> <p>【補足】 「ひな祭り音楽祭」は廃止と決まっていない。2学期中に3小学校の教務主任が中心となって、学校行事等の擦り合わせを行い、八幡浜南小学校として、どのような学校行事を行っていくかを具体的に検討する予定である。</p> <p>児童数の減少が著しく、将来の状況を慎重に見極める必要がある。他地区の統廃合については、学校再編第三次実施計画において示していきたい。</p>
社会福祉課	養護老人ホームについて	松柏中学校跡地の養護老人ホームの規模と完成時期はいつ頃か。	規模は100名程度を想定している。来年度に基本設計を開始する。
子育て支援課	神山こども園の交通問題について	神山こども園建設に伴う渋滞が心配である。しっかり対応してほしい。	家畜衛生保健所跡地を駐車場として整備するほか、送迎時間の工夫などで対策する。
政策推進課	市の情報発信について	YouTubeでの港まつりの広告は非常に良かったので続けてほしい。	良い意見として担当に伝え、継続していきたい。
総務課	避難所の備蓄について(事前質問)	文書回答の想定人数ではなく、地区が想定する人数に基づき、3日分の食料・トイレ・寝具を早急に神山小学校の防災倉庫に備蓄してほしい。	<p>要望はしっかり検討する。今後は市として具体的な避難計画を作成し、地区住民とも協議しながら、災害時に備えた地域間の連携づくりを進めたい。</p> <p>【補足】 令和3年度に八幡浜市備蓄計画を策定し計画的な備蓄を実施している。早期に備蓄品を配備することも大切ではあるが、予算の都合上、自助・共助の部分における各家庭ローリングストック方式による備蓄や、各自主防災会等における共同備蓄の検討もお願いしたい。</p> <p>能登半島地震での被災地では、孤立集落が多く発生したことで、公的援助が遅れたことから、共助により被災者自身が自宅から避難所に物資を持ち寄り、公的援助が届くまでの間は対応している。このような事例も検討してもらいたい。</p>
建設課	管理不全土地の対策について	住宅裏の土地が管理されず、草木が生い茂り実害も出ている。所有者不明で連絡が取れない場合でも、市として対策できないか。	<p>所有者を調査し管理を要請しているが、限界もあるのが現状。建設課に連絡いただければ個別に現場を確認し対応する。法改正で、越境した枝などは刈り取ることが可能となっている。</p> <p>【補足】 土地の所有者と出会い、土地の状況を説明したところ、シルバー人材センターに除草作業をお願いするとの回答をいただいた。</p>